

沼津市リノベーションまちづくりシンポジウム 2022 vol.3

～これからの沼津の商店街と日常を考える～



【仲見世商店街】滞留空間を創った社会実験「OPEN NUMAZU 2022 ARCADE」の様子

上段【新仲見世商店街】下段【あげつち商店街】

沼津市では、2015年から始まったリノベーションまちづくりの取組により、多くの事業や活動が創出されてきました。そのネットワークが広がり、沼津を楽しむ人たちが、市内のあらゆる場所で増えてきています。リノベーションまちづくりが単に遊休不動産の活用に留まらず、より豊かで持続可能な地域を育むための、新しい展開を見せています。

6月の渡邊浩司さん、9月の梶原伸介さんにつづいて、今回は、岐阜の柳ヶ瀬商店街で活躍する末永三樹さんと鬼頭知那さんをお迎えして、これからの沼津の商店街と日常、沼津のまちづくりを考える講演会を開催します。

SCHEDULE

日時: 2月21日(火) 18:30 ~ 20:30 (開場 18:00)

会場: 沼津ラクーン6階 (沼津市大手町 3-6-1)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催方法を変更する場合があります。

PROGRAM

1. 開会
2. 「商店街と OPEN NUMAZU」沼津市まちづくり政策課
3. 講演①「商店街に新しい可能性を見出す
～サンデービルディングマーケットから柳ヶ瀬日常二階レまでの歩み～」
(株)ミュキデザイン 代表取締役 末永三樹氏
講演②「私の商店街ぐらし」
柳ヶ瀬を楽しいまちにする(株)事務局 鬼頭知那氏
4. トークセッション
(株)ミュキデザイン 代表取締役 末永三樹氏
柳ヶ瀬を楽しいまちにする(株)事務局 鬼頭知那氏
(株)まめくらし代表取締役 青木純氏
(同)REIVER代表 鈴木智博氏、古地由莉香氏 (OPEN NUMAZU 企画運営)
沼津信用金庫 神宮杏奈氏 (まちなか居住者代表)
5. 質疑応答
6. 閉会

APPLICATION

申込方法: 右記のQRコード (電話、e-mail も可)
 申込期限: 2月21日(火)12:00
 ※会場の都合により先着 80名とさせていただきます。
 ※参加費は無料です。



GUEST



末永 三樹氏

株式会社ミュキデザイン 代表取締役 / 柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社 クリエティブディレクター

1977年岐阜生まれ。一級建築士。明治大学理工学部建築学科卒業。設計事務所勤務を経て2017年に「ミュキデザイン」を設立。2016年には「柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社」を仲間たちと共同設立し、クリエイティブディレクターを務める。「あるものはいかそう、ないものはつくる」を理念に、建築的な視点を持って「まちをアップデートし、次世代へ手渡す」ことを目指し、大小さまざまな設計、デザイン、企画、プロモーションなどを包括的に考え実践する。一児の母。



鬼頭 知那氏

柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社

1997年愛知県名古屋生まれ。愛知淑徳大学ビジネス学部卒業後、一般企業に勤めた後、サンデービルディングマーケットをきっかけに、柳ヶ瀬のまちへ人が創り出す独特な雰囲気に関わり、2022年3月より柳ヶ瀬を楽しいまちにする(株)へ就職。現在は、柳ヶ瀬で働きながら、柳ヶ瀬に暮らしている。



青木 純氏

沼津市リノベーションまちづくりアドバイザー
株式会社まめくらし 代表取締役 / 株式会社 nest 代表取締役 / 他

生まれ育った東京都豊島区の池袋を舞台にリノベーションまちづくりやウォーカー推進の公民館事業を推進する。南池袋公園・グリーン大通りを舞台に2017年から取り組む「KEBUKURO LIVING LOOP」ではイベントや実験からハード整備につなげ、新たなまちの個性となる「まちなかリビングのある日常」の風景を地元企業と共創している。コミュニティが価値を育む「青豆ハウス」「高円寺アパートメント」等の企画運営を通して「大家の学校」で数ある大家の育成にも取り組む。2021年より国土交通省「ひと」と「くらし」の未来研究会 コアアドバイザー。奈良市公園マネジメント基本計画策定委員。



鈴木 智博氏

建築家 / 合同会社 REIVER 代表 / TINY STAND / Tagore / 他
1986年東京生まれ東京育ち。東京・ジャカルタで建築設計業務に従事したのち、「第3回リノベーションスクール@沼津」に参加して木製層台ブランド TINY STAND を開発。2019年合同会社 REIVER(レイバー)を設立。都市・まち・建築に関わるデザインによるコミュニティの再構築を目指し、空間設計やプロジェクトデザインに取り組み、2019年沼津市戸田にまちづくり拠点としての宿泊施設「タコローバーホステル」、2021年に懸掛植栽所「アーキペラゴ・ロースタリー」を開業。同年に空きビルを活用した沼津市のまちなか居住推進事業をプロデュース。2022年秋に「OPEN NUMAZU 2022 ARCADE」を実施。



古地 由莉香氏

合同会社 REIVER ディレクター / 循環ワークススタッフ

1992年沼津出身。関西学院大学教育学部卒業。(株)星野リゾート・マネジメントにて地方再生の手法を学んだのち、空間デザインの基礎を学ぶべく建築インテリア、挿絵デザインを京都と東京の地で学ぶ。「人と環境」を自身の軸とし、現在は合同会社 Reiver、循環ワークス等に所属しながら、個人でもギャラリー運営に携わる等あらゆるかたちで自身の生まれ育ったまちへの還元を図る。



神宮 杏奈氏

沼津信用金庫
1995年沼津生まれ。小学生からずっと沼津のまちなかで暮らし、アルバイトを通じてまちのお店に育てられた「生粋の「おまち」っ子」。地元でお酒を嗜んだり「週末の沼津」で母・優子さんのお店を手伝ったりする一方、「すぐ近く」の首都圏との行き来を楽しめる、沼津のまちなかを暮らしを気に入っている。信用金庫では渉外担当として、日々顧客の元にバイクを走らせている。